国立天文台 VERA プロジェクトの継続を求める意見書

国立天文台水沢 VLBI 観測所が２００３年から運用する VERA プロジェクトは、VLBI（超長基線電波干渉計）の手法を用いて、銀河系内の電波天体の距離と運動をこれまでにない高い精度で計測し、天の川銀河の３次元立体地図作成に取組んでいる。本市登野城に位置する電波望遠鏡 VERA 石垣島観測局は国内の他３箇所（岩手県奥州市、東京都小笠原、鹿児島県入来）の電波望遠鏡とともに同プロジェクトにより運用されており、記憶にあたらしい昨年 ４ 月１０日の人類史上初めてブラックホールの影の撮影に成功した偉業では、VERA で培われた技術や装置開発、ソフトウェア開発の経験、さらには VERA を使って育った天文学者たちが大きく貢献している。また同プロジェクトは中国、韓国との電波望遠鏡とも連携し東アジアネットワークを構築するなど国際協力にも寄与している。そのような中、今年度政府が観測局関連の予算を前年度比で半減させたことに伴い、同プロジェクトの来年度以降の運用が危ぶまれており、石垣島 VERA 観測局は閉鎖の危機に直面してる。

本市において VERA 石垣島観測局は石垣島天文台と並んで「星の島石垣島」を代表する施設として市民のみならず島外にも広く認知され、毎年多くの観光客が訪れている。また、石垣市と国立天文台の協力で２０年以上つづく星の祭典「南の島の星まつり」は毎年１万人規模を集める島を代表する人気イベントに成長し、同観測局も市民向けに解放される。さらに、同観測局では２００５年から高校生が電波望遠鏡を使って天体を探す「美ら星研究探検隊」が企画されるなど、研究体験といった学びの機会を提供し教育にも貢献しており、最近ではその様子が TV アニメ「恋する小惑星（アステロイド)」にも描かれるなど、星空を資源として活用する星空ツーリズムを推進する本市にとって同観測局は必要不可欠な施設であり、現在高校生有志による運用継続を求める署名活動が展開されるなど、市民からも愛される存在である。

よって当市議会は新年度以降の国立天文台 VERA プロジェクトの予算増額、長期運用継続を強く求める。

以上、地方自治他法第 99 条の規定により、意見書を提出する。

令和２年９月１８日

石　垣　市　議　会

あて先　内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄県選出国会議員、国立天文台長